

PTA活動紹介		高P連受付番号	1-1
PTA(学校)名	愛知県立岡崎東高等学校	部門No.	1
活動テーマ	いざという時に備えよう！防災体験！		
キーワード	防災・減災		
開催日	令和5年9月8日(金)		
場所	岡崎東高等学校 生徒昇降口前		
時間	13:00~15:00		
参加者	PTA役員 13名 委員 21名 計34名		
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・各地で起こっている災害を他人事と思わず自分事と捉えてほしい。 ・防災体験を通して、災害やその備えについての意識を持てるようにする。 		
活動ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・起震車で震度6強から震度7を体感。 ・的あてゲームで水消火器に触れることで、いざという時に慌てずに使用できるようにする。 ・防災クイズは実際に震災が起きた時に正しい判断をできる知識がつくような内容にした。 		
主体委員会名・講師名等	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎東高校PTA主催 ・岡崎東消防署(起震車貸与) 		

① 岡崎消防署にて起震車と水消火器を依頼。



② 水消火器、的の作製。

③ 防災クイズの作成。

※今年の高P連宮城大会にて学んだことや震災地にて学んだことを参考に作成しました。

④ チラシを作成して生徒たちへの呼びかけ。

【当日の流れ】

- ① 役員・委員全員でテントの設営、水消火器・クイズエリアの準備
- ② 生徒たちへの呼びかけ、起震車へ案内・体験 → 感想を聞く
- ③ 水消火器の使い方をレクチャーした後、的あてゲーム
- ④ 防災クイズ
- ⑤ 片付け



【活動の様子】①起震車



《体験者の感想》

小学生の時に一度乗ったことがあったが、改めて乗って地震の怖さを実感した。(3年男子)
 揺れだしたら何かにつかまるのが精いっぱい、ほかのことはできなかった。(2年女子)
 揺れだしたら、身体が勝手に椅子から飛び上がって・・・本当に起きたら怖い(1年男子)

②防災クイズ



夏に参加した高P連宮城大会での講習会や、実際に大震災に被災した荒浜小学校へ訪れた際に学んだことを活かしてクイズを制作しました。生徒たちも熱心に答えてくれました。



③水消火器を使った消火訓練

PTA役員から使い方のレクチャーを受け、的に向かって放水！ 実際に消火器を使ったことのある生徒はほとんどいなかったの、いざという時に慌てなくていいぞ！
 ちなみにここで使った的は、役員が仕事の合間に作りました。



④防災ボトル



SNSで話題になった『防災ボトル』を展示。自宅で自分だけのオリジナルボトルが作れるように、レシピカードをプレゼントしました。

⑤まとめ

いつ来てもおかしくないと言われている大地震への関心を持ってもらえるように、春から話し合いをし準備を進めてきました。実際に体験することで意識の変化もあったように感じました。役員・委員共に積極的に声をかけ、沢山の生徒に体験してもらうことができ、PTA活動の遣り甲斐を感じることができました。



PTA活動紹介		高P連受付番号	1ー2	
PTA(学校)名	愛知県立岡崎北高校		部門No. 1	
活動テーマ	どうする北高生～明日、災害当事者になるかもしれない。そのとき、何が出来るか～			
キーワード	救急救命講習(胸骨圧迫・AED・三角巾)	起震車体験・防災クイズ	当事者として何が出来るか	
開催日	令和5年9月14日(水)			
場所	愛知県立岡崎北高校 西校舎1階(多目的室・2-1)体育館前ピロティ・広場			
時間	午前9時半～午後3時			
参加者	PTA役員9名 進路研修委員15名 講師3名 全職員・生徒			
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるか分からない災害に対して自分が何が出来るかを考え、主体的な防災意識を育てる。 ・胸骨圧迫・AED・三角巾など実際に役立つ救急救命講習を受け、いざという時にすぐ行動できるようにする。 ・6月の豪雨災害の映像・起震車体験により自分ごととして災害について考え、さらにパネルクイズを通して知識を深める。 ・学校が避難場所になった場合を想像し、高校生の視点で災害を考える。 			
活動ポイント	<p>AED講習に「まもるまる」という補助具を採用し、高校生や女性でも躊躇なく使えるよう配慮した。身近に起こった災害の記憶を通して、主体的に行動できる意識を持ってもらうよう工夫した。</p>			
主体委員会名・講師名等	<p>岡崎北高校PTA進路研修委員会 伏田綾さん(看護師・助産師)、大橋春果さん(看護師)、近藤秀明さん(救急救命士)</p>			
【準備】	起震車・救命講習・講師の手配、豪雨災害の映像作成、校章スタンプとカード作成、備品の購入、委員の出欠確認及び担当表作成、弁当の手配			
【当日の流れ】	9:30~10:00	会場準備(防災食を運ぶ・映像機材設営・受付設営・資料の準備)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当外の委員さんは自由に校内を参観しつつ宣伝 ・一つイベントを終えたらスタンプを押す ・スタンプを集めて校章が完成したらさらに景品 ・伏田先生到着まで3年委員(看護師さん)が三角巾担当 	
	10:00~10:30	進路委員AED講習(まもるまる・三角巾講習)		
	10:30~11:00	校舎内を宣伝		
	11:00~11:30	映像クイズ AED(2) 受付(2) 三角巾(2) 1年生委員(4)・役員(6) 3年委員 役員		
	11:30~12:30	映像クイズ AED(2) 受付(2) 三角巾(2) 2年生委員(4)・役員(4) 3年委員 1年生・3年生		
	12:30~13:30	映像クイズ AED(2) 受付(2) 三角巾(2) 起震車 昼食 3年生委員(6)2年生(1)役員(2) 伏田先生 遊軍で誘導 2年生		
	13:30~14:30	映像クイズ AED(2) 受付(2) 三角巾(2) 起震車 1年生委員(4)2年生(1)・役員(6) 伏田先生 遊軍で誘導		
	14:30~15:00	全員で片付け 10/4の連絡		
【総括・反省】	内容は充実しており、生徒はとても真剣に参加してくれたが、校舎改装に伴い、会場が分散してしまったことがやや残念だった。事前の宣伝、看板やチラシの作成をすればよかったというのは反省点である。防災の啓発とともに、期限の近づいた防災食を景品として有効利用できるの、今後も内容を検討しながら継続していきたい。			

災害!どうする北高生



床上浸水した家屋



水没した通学路



被災した通学路



AED～心肺蘇生



三角巾講座

生まれて初めての大水害

6月2日に台風2号による大水害が発生。通学路は水没し、同級生も被災しました。

岡崎北高校×指定緊急避難場所

地震・風水害で岡崎北高校は指定緊急避難場所になり怪我人も含めて付近からの避難が予想されます。

AED 支えられる側から支える側へ

PTAブースでAED、心肺蘇生、三角巾講座を実施。高校生として何が出来るか、を考えました。

支える側で考える 生徒のブレインストーミング

学校が避難場所になった時、あなたは何が出来ますか？ コレ、避難場所にあつたらいいな！

衛生・環境	メンタル	生活	衛生・環境	食事	生活
トイレ掃除	みんなを励ます	本の読み聞かせ	生理用品	温かい食事・飲物	女性専用スペース
学校の地図を作る	サイエンスショーを見せる	勉強を教える	タオル	ペットフード	一人になれる空間
校内を案内する	笑う歌う	小さな子どもと遊ぶ	お風呂	食器類	ペット専用スペース
		学校で使える物を集める			Wi-Fi回線

北高防災クイズ

映像を流していくよ。分かった段階で、答えてみてね

全6問!

Q1 6月2日台風2号の発生の際に、岡崎市内では、このような機器があるよ。これには、何が出来るかな?

Q2 これは、6月2日の水害の様子だよ。この機、避難路はどうなったか、わかるかな?

A1 水位計

岡崎市の水位を計測しているよ。この水位計による河川の水位情報は、いつでも岡崎市のホームページにあるよ。

「おかげさまで防災ポータル」

で確認することができるよ。

PTA活動紹介		高P連受付番号	1-3
PTA(学校)名	愛知県立安城南高等学校	部門No.	1
活動テーマ	PTA就職面接指導		
キーワード	就職指導に関する活動		
開催日	令和5年8月23日(水)		
場所	本校		
時間	14:00~		
参加者	PTA就職面接指導担当者、教職員、就職希望の3年生		
趣旨	9月に就職試験を控え、教員との面接練習を繰り返している。この時期に教員以外の保護者と面接をすることで、面接試験本番の緊張感を体験できることを目的としている。		
活動ポイント	保護者の率直な面接の感想を聞き、就職試験までにより一層準備できる機会としている。		
主体委員会名 ・講師名等	進路指導委員会		
面接指導の様子			
   			